

9月定例議会 町政報告

町政報告要旨

▼令和2年度普通交付税交付額の決定

町の普通交付税交付決定額は17億6624万6千円で、前年度当初算定額17億765万8千円と比較し、5858万8千円、3・4%の増となっています。

また臨時財政対策債発行可能額は8820万7千円で、前年度比316万8千円、3・5%の減となりました。

この2つを合わせた実質的な交付税は、対前年度比5542万円、3・1%の増となっています。

当町の場合、基準財政需要額では、国の地方財政計画に基づく「地域社会再生事業費」の創設や、「個別算定経費」及び、会計年度任用職員制度導入による「包括算定経費」の増などにより、総額で対前年度比1億2076万円の増となりました。

基準財政収入額においては、平成28年度に過大算定された市町村住民税法人税割について、精算期間が終了したことから、昨年度「0」として算定されていたものが、4526万9千円として算入されたほか、消費税引き上げによる地方消費税交付金の増加及び、法人事業税交付金

令和2年度第6回町議会が9月9日から17日までの会期で開かれ、条例制定・補正予算等21議案が可決されました。町政報告の要旨をお伝えします。

の創設などにより、総額で対前年度比6297万2千円の増となっています。

臨時財政対策債は、地方財源の不足に対処するため、地方財政法の特例として発行するもので、その元利償還金については、翌年度以降の基準財政需要額に全額算入されます。

令和2年度予算において普通交付税額は15億5000万円、臨時財政対策債は9000万円を計上していたことから、これらをあわせた留保財源は2億1445万3千円となっています。

▼住民票・戸籍証明書・税証明書のコンビニ交付事業の開始予定

当町の運用開始予定は、11月2日の8時30分です。運用開始後は、住民票の写し・印鑑登録証明書・所得課税証明書は、土日祝祭日を含み6時30分から23時まで、戸籍証明書は、平日の9時から17時15分まで利用できるようにになります。

コンビニ交付の方法は、マイナンバーカードを持っている方が、コンビニに配置されている多機能端末機を自分で操作して交付を受ける形となります。

マイナンバーカードは、行政手続き等の電子申請や本人確認のための身分証明のほか、今後

様々なサービスに利用できるよう計画されているので、カードの取得についてもさらに推進していきたいと考えています。

▼老人憩の家「あかしや荘」の状況

レジオネラ属菌が基準値を超えて検出されたことから、6月26日から臨時休業としています。

その後、7月2日に再検査しましたが、再び基準値を超えて検出されました。

原湯に菌が繁殖していることは考えにくいこともあり、8月5日に自噴した原湯を直接採水したほか、機械室内を消毒し、原湯バルブから改めて採水し、検査しました。

8月17日、結果速報が届き、自噴した原湯からは検出されませんでした。機械室内で採水した原湯から検出されました。

これにより、温泉ポンプ室から建物機械室までの温泉給湯配管内にレジオネラ属菌が繁殖していることが確認できました。が、地中埋設のため、管内の洗浄や消毒が不可能な状況です。

専門的な調査をしなければ原因究明はできませんが、原因が究明できても、現状のままでの再開は難しいと考えています。

こうしたことから、無期休業とし、源泉の温泉井戸を閉栓することとしました。今後再開するためには、「新

たに温泉を掘削する方法」と、「温泉を止め、大規模な設備替えを行い、全て沸かし湯で対応する方法」の二つの方法しかないと考えていますが、いずれの方法も、経費が数千万円になるものと予想され、工事期間も長期にわたると見込まれます。

これを踏まえ、今後の老人憩の家「あかしや荘」について、継続するか、あるいは廃止するかをできるだけ早い時期に判断したいと考えています。

また、休業により利用していた方々には、大変ご不便を強いられていると思います。このため、現在、ゆとりあで実施している湯楽事業の利用者のほか、あけぼの、つじ平のお風呂のない方などを対象として、ほつとりあの浴槽を改修し、浴室の開放事業を11月から開始したいと考えています。

▼普通共用林野の運営状況

入林料徴収関門は今年も5か所とし、徴収期間は5月23日から6月21日までの30日間となりました。

期間中の入林者数は、延べ人数で、町外者3845人、町内者811人、計4656人となり、昨年度比で町外者は843人の増、町内者は42人の増、計885人の増となりました。

なお、入林許可証は、305人の町民に交付しています。収支決算見込みは、収入が約

446万円に対し支出は約363万円、およそ83万円程の黒字となる見込みです。

▼康楽館創建110年特別公演

今回の常打ち芝居は、康楽館創建110年記念公演として、小坂鉦山發展の礎を築いた「久原房ノ助」を取り上げ、黒鉦製錬の成功により小坂鉦山を一大銅鉦山へと發展に導くまでの物語となる予定です。

また、康楽館創建110年の記念となるため、町民の観劇は無料とし、小坂小、中、高の児童・生徒についても、無料招待とする予定です。

上演にあたっては、場内換気の励行、施設内の清掃・消毒の徹底、従業員の体調チェック等を行うとともに、来場者の手指消毒、マスクの着用等の予防策をお願ひすることとしています。

あわせて、来場者間の距離を確保するため、入場者数を1公演当たり120人に制限し、原則予約制とし、同意を得た上で来場者名簿の作成をします。

公演を行う役者やスタッフについても、事前にPCR検査を行い感染の有無を確認した上で、来町することとなっています。

▼水稲の生育状況

今年の水稲については、6月は日照時間が多く、気温の日較差は大きい状況だったため、分